



6かつ りす組



新生活も2ヶ月が経ちました。5月は気温差が激しい日が続きましたが、晴れの日には戸外でいっぱい体を動かして遊ぶことができ、肌寒い日は室内で過ごしたり、上着を着て戸外にでて調整しました。長久保公園では、斜面を登り降りしたり、アリの発見したり、葉っぱや石を集めてみたり。6月は梅雨の季節になりますが、しっかり体も動かして遊べるよう工夫していきたいと思います。

全身運動について

乳児期の発達について 寝返り→ずり這い→四つ這い→つかまり立ち→一人立ち→歩行 とひとつひとつの段階がとても大切になります。また、歩行前にハイハイを十分に経験することはとても重要で、肩、腕、腹筋、背筋の力が鍛えられ、バランス感覚や反射神経も鍛えることができます。

トンネルや階段昇り、すべり台などのハイハイをする遊びを十分に促し、安定して転びにくい歩行ができるようにつなげていきます。凸凹道を歩くことや斜面を登ることで足腰の発達へと促しています。

最近では両足跳びができるようになってきた子も増えてきました。トランポリンで遊ぶときは、大人が手を持って一緒に支えながら跳んだりすることによって、徐々に両足を揃えてのジャンプができるようになってきています。毎日の遊びの中で、その子に合った運動あそびを取り入れ、無理なく楽しく遊べるようにしています。

クッションを使って足場を不安定にして工夫しています。

バランスボールを使って横に揺すったり、上下に揺すっています。

巧技台やトンネルなどを使ってハイハイをする遊びを促しています。足場を不安定にしてさらにレベルアップ！

自分でできるようになってきたよ！

自分でやりたい！やろうとする気持ちが出てきている子ども達。生活の中で着脱も自分でやろうと頑張っています！今まではズボンや靴下、靴を履く時にピョンと足を上げていましたが、最近では自分で靴下を持ち、足に入れられるようになったり、つま先に靴下を被せると自分で上まで引っ張って履けるようになった子も。自分でできたという気持ちがとても大きく大人と一緒に「できた！！」と喜んでいます。

園では、自分で頑張っている姿を近くで見守り、難しいところを手伝ってあげることや励まししながら手伝えることで子どもの気持ちを大切にしながら働きかけています。お家でも自分でやろうとすることがあるかと思います。思わず手をだしてあげたくなることもあるかもしれませんが、時には見守りながら大人が励ます事やできたら褒めることでお子さんの大きな成長が見られるかもしれません。楽しみですね♪

